

コミュニケーションの重要性を見える化した体感教育

日頃、コミュニケーションが重要であることは誰もが知っていますが、では、コミュニケーションがうまくできていないとどうなるのか、その違いは分かりにくいものです。

そこで、コミュニケーションの違いを以下の方法で簡単に体感できる教育を実施しています。

- (1) 班長役の人は工具(模擬の軽い素材で作られたハンマー)を持ち、作業員役の人は工具の下に手を開いて、工具が落下したとき、すぐにつかめるように待機する。(下図参照)
- (2) まず、班長は「3,2,1はいっ」と合図を出して工具を離し、それを作業員はどれくらいの長さ(速さ)で受け取れるか確認します。
- (3) 次に班長は、何の合図も無く工具を離し、それを作業員がなるべく速く受け取ります。

合図があった場合と無い場合で受け取る速さの違いをハンマーの柄の長さで見える化しました。合図という単純なコミュニケーションひとつでも、現場ではハンマーを受け取り損ねて落下し、下にいる人に当たって大けがをする可能性があることを体感していただきます。

